

未来デザイン

はば
たけ

未来デザイナー

令和5年宮城県高等学校総合体育大会陸上競技大会 2023/05/20 ~ 2023/05/23

普通科3年 S君 (やり投げ 1位)
Y君 (走り幅跳び 2位) 東北大会へ

他の競技に先駆けて、県高校総体陸上競技が弘進ゴムアスリートパークで行われた。仙台大明成は4名が東北大会への出場権を獲得。普通科3年のS君、Y君も出場を決めた。2人はインターハイ出場をかけ、6月に山形県で行われる東北大会に臨む。



東北大会出場を決めたS君(左)とY君(右)

第78回東北高等学校陸上競技大会
6月15日(木)~6月18日(日)
山形県総合運動公園NDソフトスタジアム山形

表彰台への想い

中学時代から走り幅跳びを続けてきたY君。中学2年時には、中総体4位、新人戦1位という成績を収め、2度表彰台に登った。

高校に入学し、徐々に記録は伸びていたが、高2でスランプに。今年の春先も今一つ調子が上がらなかった。だが、表彰台への想いが揺らぐことはなかった。地道なトレーニングを続け、高校総体を迎えた。

当日、周りの選手達が次々と自己ベストをたたき出す。それが発奮(はっふん)材料となった。6回の試技のうち5回目までの成績は4位。残すは1回のみ――。

スタートラインに立った時、「絶対に表彰台に登る」と自分に言い聞かせた。助走、跳躍、着地――一連の動作の中で確かな手応えを感じた。この最後の跳躍で6 m86cmをマークし、2位で東北大会への切符を手にした。

「インターハイ出場を目指して、東北大会では6位入賞を果たしたい。」と、Y君は意気込みを語る。重圧をパワーへと変えるY君の活躍を期待したい。



中間の声援を背に東北大会へ

6月行事予定

- 3(土)~5(月) 高校総体
- 5(月) 3時間授業(臨時時間割)
- 12(月) 全校集会
- 14(水)~16(金) 第1回定期考査
- 26(月) 1年進路学習

一発で決める

やり投げ競技が始まり、S君の緊張はピークに達していた。「やってきたことを信じて、いつも通りやる」そう念じて、やりを手にした。いよいよ自分の番を迎え、肚(はら)が決まった。「一発で決めよう」。

1投目。やりを放った瞬間「ハマった」と感じた。自己ベストを確信した。この投擲(とうてき)で55m65cmを記録し、1位を勝ち取った。

小3~中3まで、野球をやっていたS君。肩には自信があり、高校入学をきっかけにやり投げに転向した。高2の夏、右手を骨折。やりを持ってない期間に行った走り込みが功を奏した。軸が安定し、復帰後は順調に記録を伸ばした。

自信を持って臨んだ新人戦での結果は6位。悔しさにまみれながら、冬季、基礎トレーニングに打ち込んだ。一緒に練習してきた仙台大学の学生からのアドバイスも取り入れ、乾坤一擲(けんこんいってき)の勝負をものにした。

最後の晴れ舞台で勝負強さを発揮したS君。どこまで記録を伸ばすのか、今後の活躍がまたれる。



定期考査まで
3週間